

## 市としての責務（安全の確保）

主な市民の声	改修計画での対応策
①舗装の滑りやすさ及びでこぼこ	再整備により解消
②自転車の交錯の解消	自転車道・歩行者道の分離で対応
③自転車のスピード抑制	レンガ坂上広場でのスピード抑制対応、 交差部の明確化
④樹木の倒木の不安	樹木の更新
⑤休憩施設の不足	休憩スペース及び施設の増加
⑥イベント等への対応が不十分	イベントスペースや設備の確保
⑦現状の景観（緑やレンガ）の イメージの継承	舗装イメージの継承 紅葉が楽しめる樹木に更新 （アンケート結果より）
⑧夜間が暗い	照明の変更により対応

# 街路樹診断（初期診断）

初期診断表

路線名	レンガ坂	診断者	山下徳男・小川泰保	診断日	2020年02月05日
樹木番号	0778	樹種名	ユ	幹周	10cm

診断項目	異常の有無	異常の位置・内容・程度
樹皮枯死欠損・腐朽	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
開口空洞	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	梢端切断後花れ下がり、φ35下方産行進行あり
キノコ	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
木腐朽(異常音)	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
傾斜	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
揺れ	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
落枝の危険性	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
病虫害	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
錐挿貫入異常	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
建築限界超え	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
その他	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
特記事項		

初期診断の判定	<input type="checkbox"/> 異常なし	<input checked="" type="checkbox"/> 異常あり	
専門診断の必要性	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	緊急対応の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
切断面復開口空洞			



以下は管理有(都庁担当者)の記入欄		
専門診断の必要性	緊急対応の必要性	特定処置等の必要性
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり

初期診断表

路線名	レンガ坂	診断者	山下徳男・小川泰保	診断日	2020年02月05日
樹木番号	0778	樹種名	コナラキ	幹周	166cm

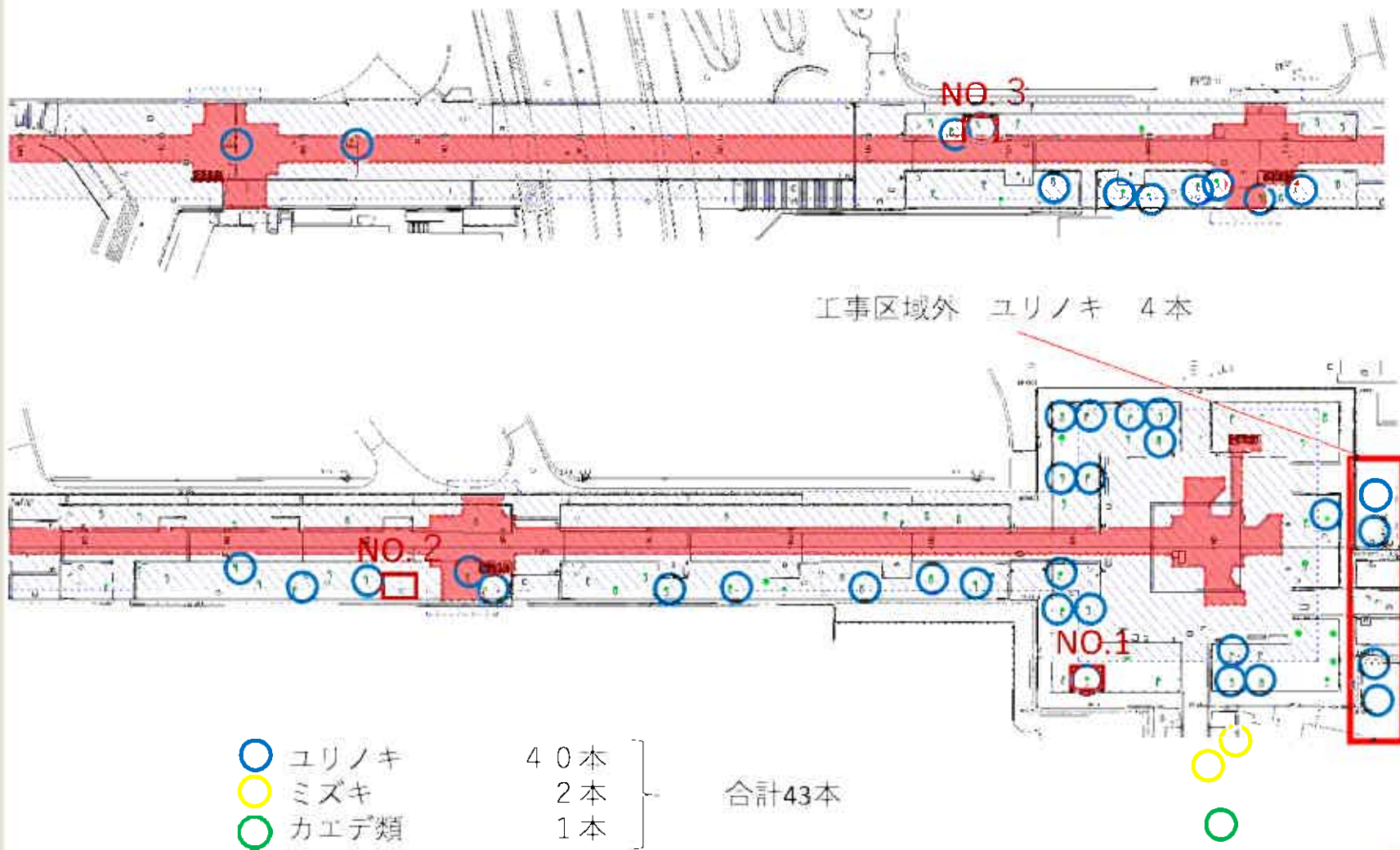
診断項目	異常の有無	異常の位置・内容・程度
樹皮枯死欠損・腐朽	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
開口空洞	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
キノコ	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
木腐朽(異常音)	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
傾斜	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
揺れ	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
落枝の危険性	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
病虫害	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
錐挿貫入異常	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
建築限界超え	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
その他	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	樹き径φ18cm
特記事項		

初期診断の判定	<input type="checkbox"/> 異常なし	<input checked="" type="checkbox"/> 異常あり	
専門診断の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	緊急対応の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
特定処置等の必要性			
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり			



以下は管理有(都庁担当者)の記入欄		
専門診断の必要性	緊急対応の必要性	特定処置等の必要性
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり

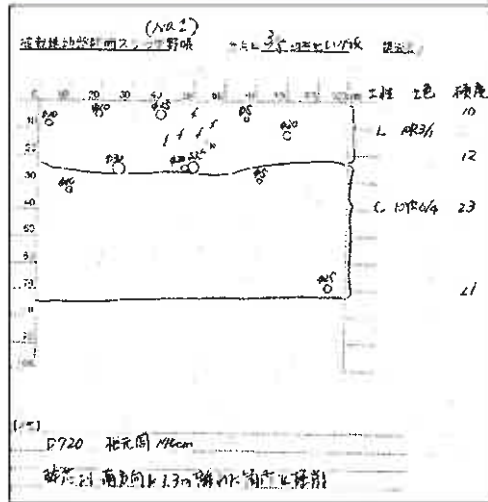
# 街路樹診断結果と土壌調査位置



※実際とは異なる場合があります

## 街路樹診断（土壌断面診断）

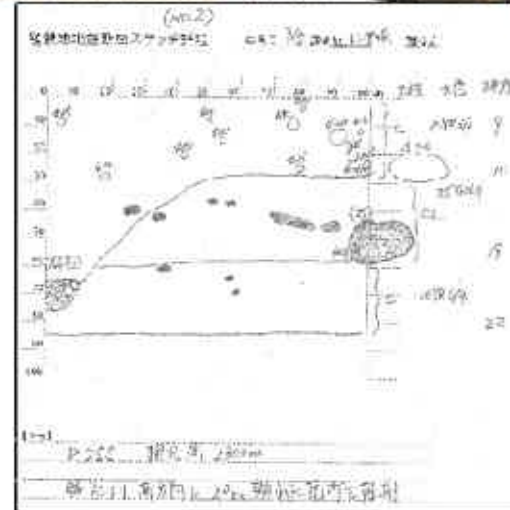
N.1 (D720)



ユリノキ (D720 根元周 140 cm) の南方向を幹芯から約 1.3m離れた箇所を掘削した。

土性は、表面から約 30 cm 下がりまでは壤土 (L) であり、その下は埴土 (C) であった。ローム層はレンガ坂築造時の積込地畷土 (黒土) で、シルト質は地山と思われる。土壌硬度は、壤土層である GL-10 cm 付近で 10 mm、GL-30 cm 付近で 12 mm であり、軟らかく根系発達に阻害はない硬さであった。埴土層である GL-40 cm 付近で 23 mm、GL-70 cm 付近で 21 mm であり、締まっており根系発達に阻害が生じる硬さであった。根系は、GL-30 cm 付近までに多くが展開している。埴土層と埴土層の境に数本の根系が見られた。埴土層の下部に 1 本の根系展開が見られた。

N.2 (D755)



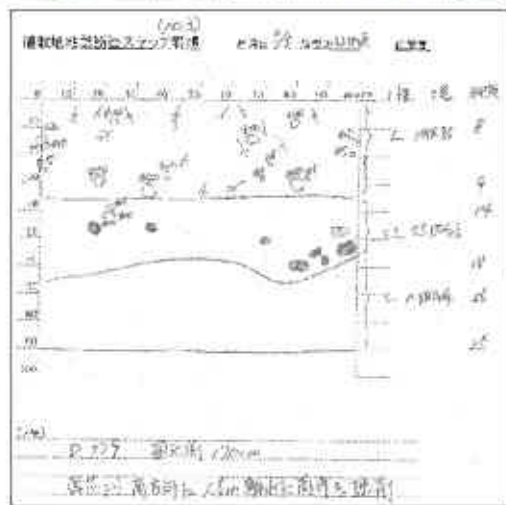
ユリノキ (D755 根元周 230 cm) の南方向を幹芯から約 2.0m離れた箇所を掘削した。

土性は、表面から約 30 cm 下がりまでは壤土 (L) であり、その下は埴土 (C) と埴土 (C) であった。ローム層はレンガ坂築造時の積込地畷土 (黒土) で、シルトが含まれる層は地山と思われる。土壌硬度は、壤土層である GL-10 cm 付近で 9 mm、GL-30 cm 付近で 10 mm であり、軟らかく根系発達に阻害はない硬さであった。埴土層である GL-60 cm 付近で 19 mm であり、やや締まった層であった。埴土層である GL-80 cm 付近で 21 mm であり、締まっており根系発達に阻害が生じる硬さであった。根系は、GL-30 cm 付近までに多くが展開している。埴土層には石が多く見られ、大きな石の下に 1 本の根系展開が見られた。



## 街路樹診断（土壌断面診断）

№3 (D779)



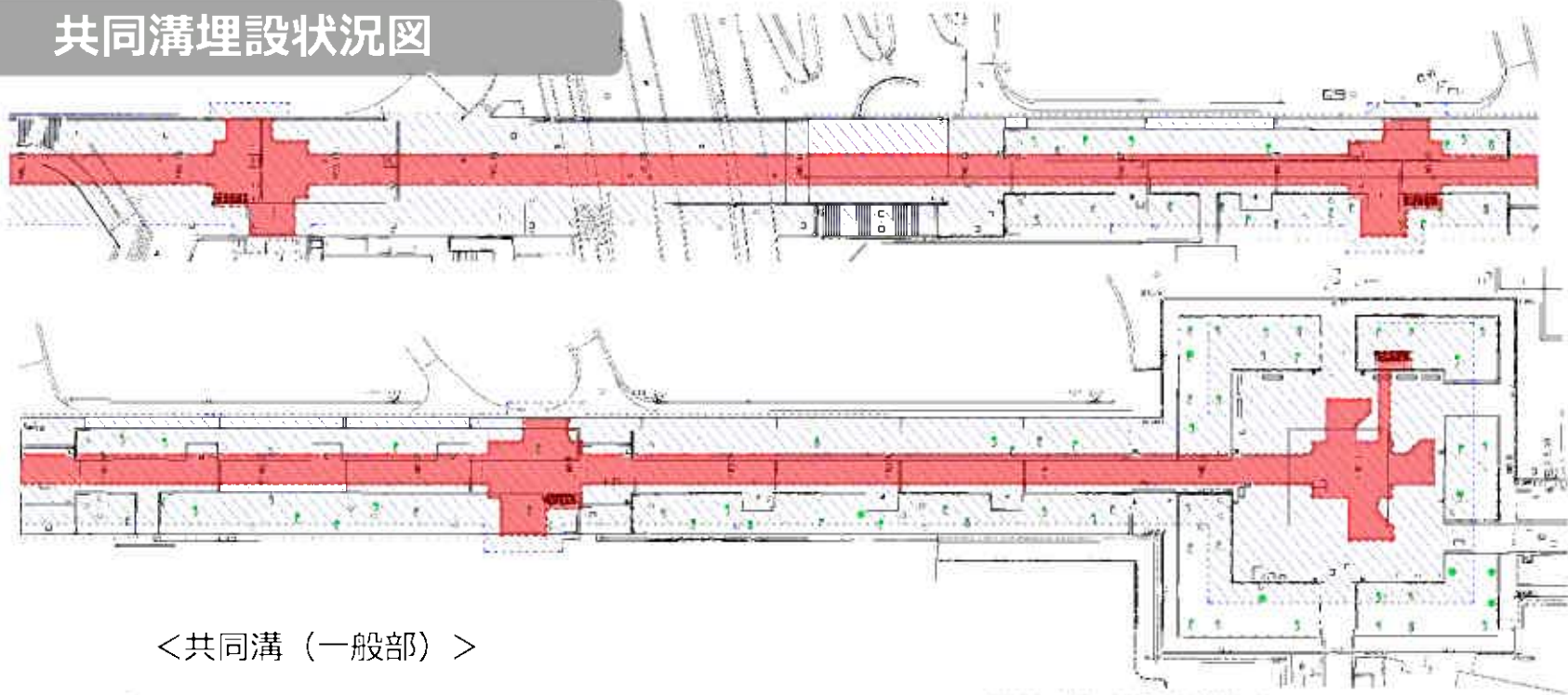
ユリノキ (D7779 根元周 170 cm) の南方座を軸芯から約 1.5m 離れた箇所を掘削した。

土質は、表面から約 35 cm までがりまでは壤土 (C) であり、その下は植塚 (C) と植上 (C) であった。コーム層はレンガ坂築造時の掘込地容上 (黒土) で、シルトが含まれる層は地山と思われる。

土壌硬度は、壌土層である GL-10 cm 付近で 8 mm、GL-30 cm 付近で 9 mm であり、軟らかく根系発達に阻害はない硬さであった。植塚土層である GL-40 cm 付近で 14 mm、GL-60 cm 付近で 18 mm であり、やや締まった層であった。植上層である GL-80 cm 付近で 26 mm、GL-90 cm 付近で 25 mm であり、締まっており根系発達に阻害が生じる硬さであった。

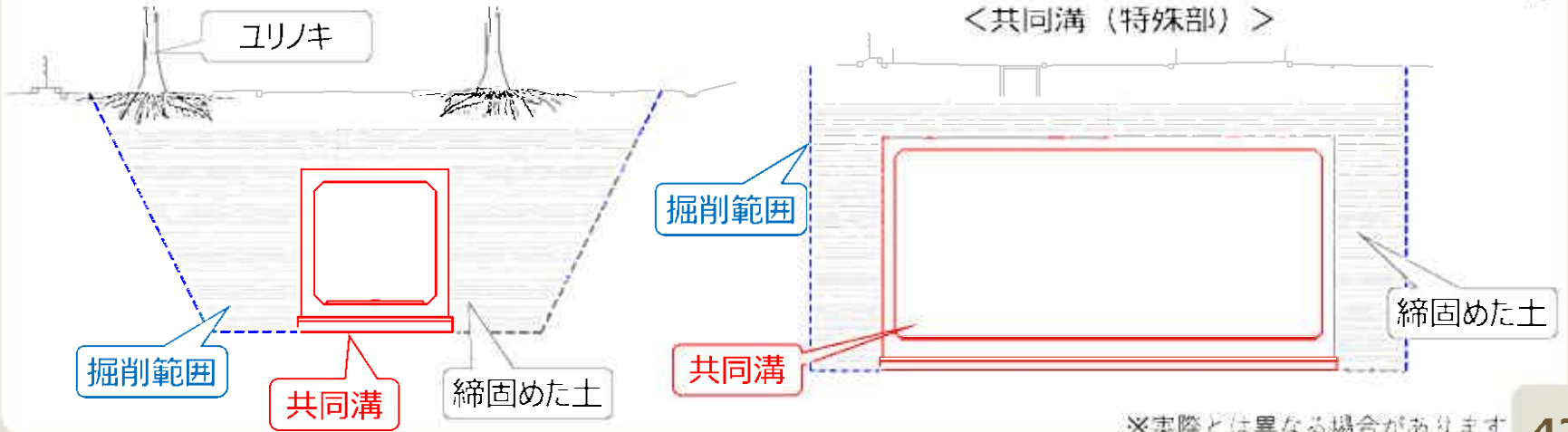
根系は、GL-30 cm 付近まで土が多くが展開している。植塚土層には石が多く見られ、壌土層と植塚土層の間に数本の根系展開が見られた。根系に段々所見は No.1 と同じである。

# 共同溝埋設状況図



<共同溝（一般部）>

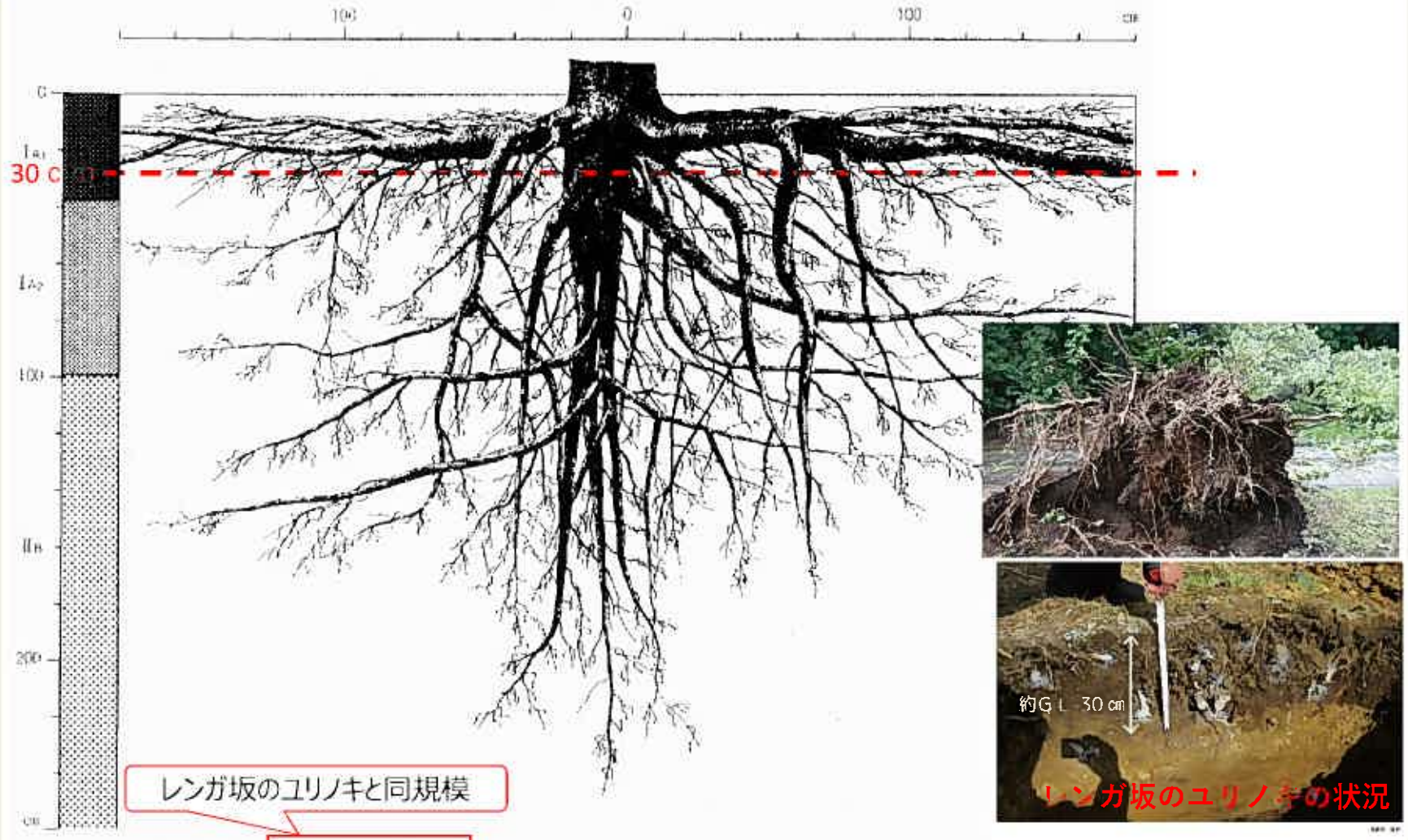
<共同溝（特殊部）>



※実際とは異なる場合があります

# ユリノキの根について

※ 「樹木根系図説」より引用



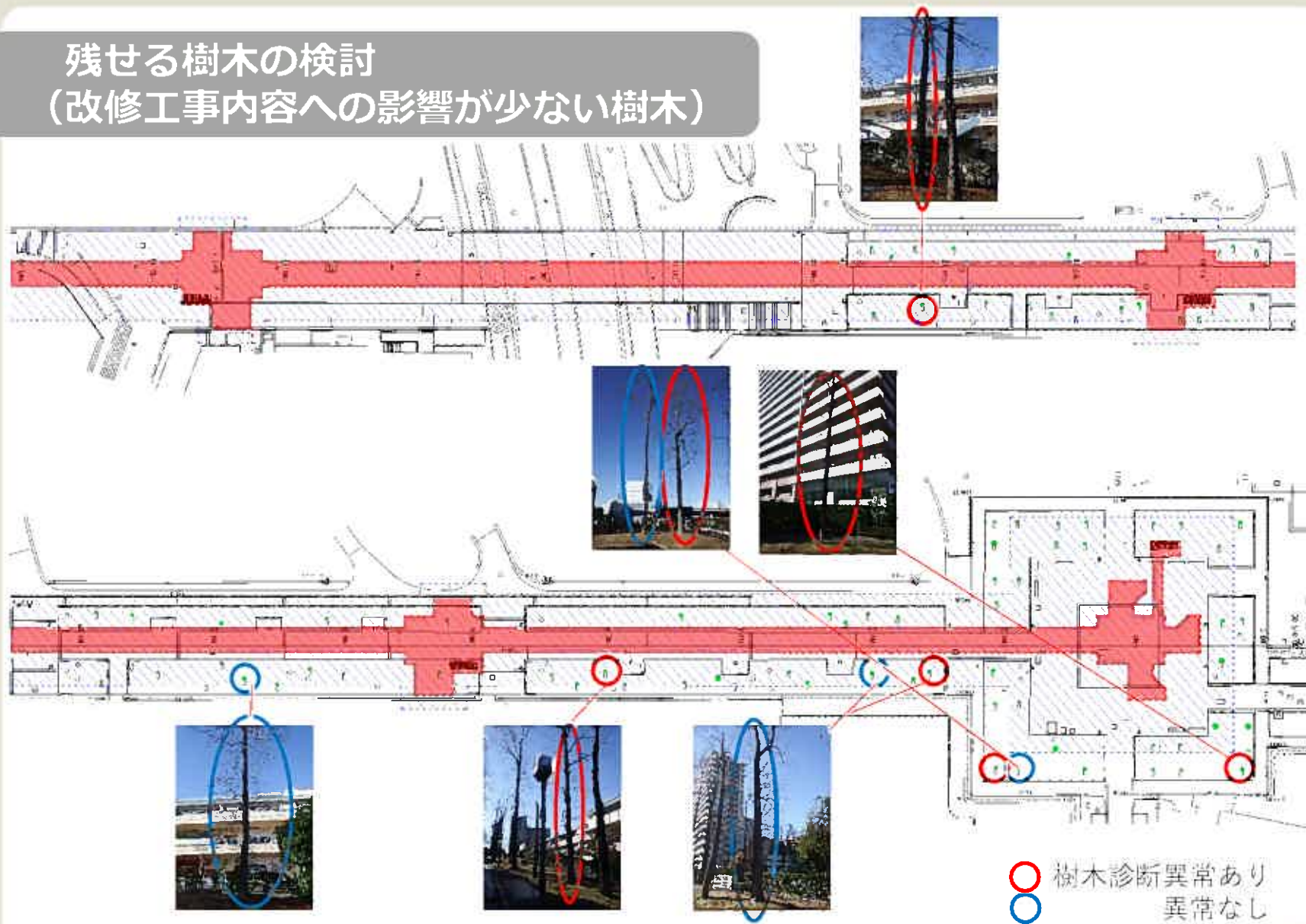
レンガ坂のユリノキと同規模

胸高直径 22cm, 樹高 11m, 樹齡 30年 根系の最大深さ 250cm. 立地 関東ローム, 百葉・林試

レンガ坂のユリノキの状況



## 残せる樹木の検討 (改修工事内容への影響が少ない樹木)



多摩センター地区 レンガ坂 (市道5-35号歩線) の改修計画について

※実際とは異なる場合があります



## 補修後の様子

タイル



タイル



その他



補修箇所

生産終了





## ショットブラストを施行した箇所





## 表面が濡れたレンガ

濡れている路面



乾いている路面

目地やタイルに水が溜まる



参考

## レンガ坂環境改善に関する社会実験（2018年）

レンガ坂の舗装の老朽化等に伴う改修工事に向けて、レンガ坂の様々な問題解決を図るための社会実験を実施し、利用者の方の声を調査しました。

実施日

2018年11月4日（日）

内容

①歩行者道と自転車道の分離社会実験

②座り場の環境改善に向けた社会実験

③アンケート・インタビュー調査



①歩車分離実験



②座り場の実験



③アンケート



参考

## レンガ坂環境改善に関する社会実験（2018年）

レンガ坂社会実験に関するアンケートのご協力をお願いします。

当てはまる場所にシールを貼ってください。

**Q1** 過去に歩行者や自転車とぶつかりそうになったことがありますか？

よくある	時々ある	ほとんどない	全くない

**Q2** 歩行者と自転車の優先するゾーンを区切ることは有効だと思いますか？

有効	有効ではない	よくわからない

**Q3** レンガ坂にイスやテーブルなどの休憩場所があったほうがよいですか？

あったほうがよい	なくてもよい

レンガ坂社会実験事務局：多摩市都市整備部道路交通課

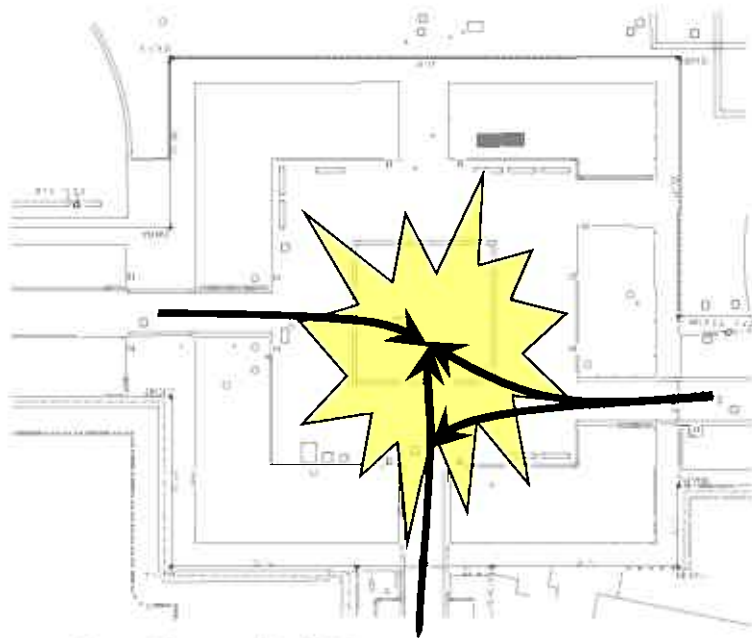


多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について



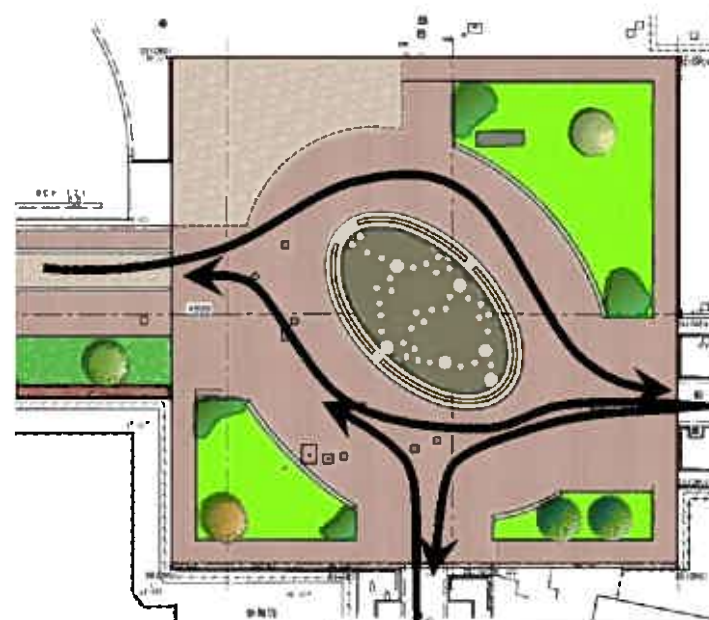
## 広場改修の目的（期待する効果）

現況



通行部分と広場部分が共存していることから交錯  
→広場内での接触事故等の危険性

改修後



広場中央部をロータリー  
→通行部分と広場利用の明確化

## 照明計画

### 現況



- ・柱との接合部が特殊な寸法であるため灯具交換不可（ランプタイプのみ対応可）。
- ・街路灯カバーが経年劣化により破損しやすい。
- ・点検工がなく、配線部分が狭いため、維持管理がしづらい。
- ・ベースプレートが路面上にあるため、アンカーボルトが腐食しやすい（過去に倒壊あり）。
- ・灯柱高が低い。

### 改修後



- ・柱との接合部の寸法が一般的なため灯具交換が容易。
- ・点検口及び柱内のスペースがあるため、維持管理しやすい。
- ・多摩中央公園の改修基本方針の照明の考え方に合わせている。

## 照明計画



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）の改修計画について



## 既存施設の再利用

